



ひかりの子つうしん 「子どもの力を信じて」

2025 年 4 月

園長 若槻 三記子

新年度がスタートしました。期待、喜び、不安、緊張と色々な思いが交錯する 4 月です。新入の子どもたちは、お家の人と離れ、初めての集団生活です。椅子に座って先生のお話を聞いたり、ルールを覚えたり、慣れない環境の中で、遊んだり、食事をしているのです。疲れたり、悲しくなって泣いたり、行き渋りをするのは当然だと思います。進級児もお部屋、先生、友達関係が変わり、戸惑う姿が見られます。また緊張が少しほぐれ、周りを見る余裕ができた分、しんどくなっている子もいます。

「うちの子は、クラスの中でやっていけるのかな」「ずっと泣いている、いつになったら一人でお部屋に行けるのかしら」と心配されているお家の方もおられると思いますが、焦らなくても大丈夫です。子どもたちの小さな体には、神様からいただいた成長しようとする力が秘められています。見える現状は、変わらないように思えるかもしれませんが、子どもたちは、行きつ戻りつしながらもしっかりと水面下で成長しています。子どもたちの乗り越えようとする力を信じて、一緒に待ちましょう。「あなたはあなたのままでいいんだよ。」「大丈夫、きっと笑顔で行けるようになるよ。その日を楽しみに待っているね。」という温かなまなざしが子どもたちに自信と安心を与え、自律を促していくと思います。

頑張っている子どもたちが、お家に帰られた時は、グューと抱きしめて充電をして下さい。私達職員も子どもたちと早く仲良くなりたい、信頼関係を築きたいという思いでいっぱいです。子どもたちの気持ちを受け止め、一人ひとり愛情をもって接していきたいです。園が 1 日も早く子どもたちにとって安心できる場所となりますように。連休明けは、後戻りするかもしれませんが、いちご狩り、親子遠足、色水あそび、わくわくすることがたくさん待っていますよ。家庭と園が共に手を繋いで、子育てをしていきましょう。どうぞ宜しくお願い致します。

イースターの卵探しの様子





給食始まりました

お台所の方が、給食の見本を持ってくると、数人の年中さんが集まってきました。

「今日の給食何かな？あっ唐揚げや！ヤッター大好き♥」「ポテトサラダもある！」と言って皆でぴょんぴょん飛び跳ねて喜んでいました。

子どもたちの反応よし 🍌 年少のこうさぎさんは、どうかな？

今日は、こうさぎ組(幼稚園組)の初めての給食の日です。

手を洗い、コップやリュックを持って椅子に座り、食事の準備を始めると、年長のこひつじさんがお手伝いに来てくれました。

お互い緊張しながら、こひつじさんは「ランチマットを出すんだよ。」と優しく声を掛けます。袋から出すのも一苦労のこうさぎさん。

でもできるまでじっと待ってあげているこひつじさん。

こひつじさんが「このくらい食べれる？」と言いながら給食を配膳。

やっと用意ができて『いただきます』のお祈りをします。

「手はこのように合わせて！」と一人ひとりに教えに行く姿は、小さい先生そのものです。

こひつじさんは、お世話することで責任感や ^{いっしょ} 慈 心が育まれ、

一生懸命まねっこをするこうさぎさんは、こひつじ、こばとさんを見て、憧れを持ちチャレンジする心が芽生えていきます。



【こうさぎさんの給食時の会話】

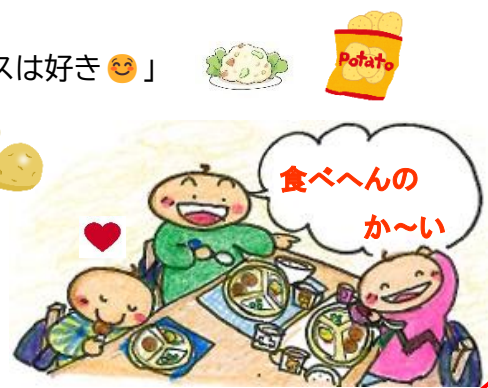
Aちゃん「このポテト(サラダ)嫌い！でもポテトチップスは好き😊」

Bくん「エーッ これもこれもポテトやないかい！
なんで嫌いやねん。食べへんのか〜い。」

Aちゃん「ほんまや💡 食べてみよう。
美味しい♡ でもきゅうりは、いらん。」

などと言いながら楽しくお友達と食べる姿がありました。

3歳とは思えないトークに大笑い！



家でお野菜を食べないから、園で食べさせて欲しいというお家の方の願いはあると思います。園のねらいは、まず「楽しく食事する」ことです。

無理強いしたり、食べられるまで残したりしません。

子どもたちが無理なく食べられる量を入れ、それでも食べられない時は、子どもと相談しながら「今日はこれだけ食べてみようか。」と促しています。

自分達で野菜を育てたり、収穫したり、クッキングを通して、少しずつ色々なものが食べられるよう成長していくことを願っています。